

いらなくなった家電4製品は正しくリサイクル!

使用済み家電の処分に「無許可」の回収業者を利用しないで!

正しい処分は許可や委託を受けた業者が行います。

廃棄物として家電を捨てる時は、廃棄物処理法の許可を得ていない回収業者に絶対に渡さず、電器店に引渡すか自治体にご相談ください。

こんな「無許可」業者は利用しないで!



違法!

利用すると以下のような「困った事態」にも!



テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコンは、
「家電リサイクル法」に基づく適正リサイクルにご協力を!

PETECオンライン見学のお知らせ

PETECに直接行くことができない・・・でも「リサイクルについて学びたい!」という学校や団体様、ぜひご活用ください!

- ・授業時間: 45分~60分
- ・対象: 10名以上の団体様
- ・接続方法: ZoomまたはTeams (ユーザー参加人数 上限200名様)
- ・コース: 大人用 / 子ども用
- ・参加費: 無料

授業内容 (画像や動画を使用)

1. PETECの紹介 / 環境問題について
2. 家電リサイクルの流れ / 3R
3. 使用済み家電の正しい出し方
4. Q&A

※授業内容やお時間等は相談させていただきます

詳細はホームページの
工場見学のお申込み → オンライン見学をクリックください
お申込みはホームページから

PETECバーチャル工場見学のお知らせ

このQRコードをスマートフォンで読み込んでいただくとバーチャルで工場見学をお楽しみいただけます



PETECへのアクセス



大阪方面から自動車、電車、高速バスで約1時間半

パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社

〒673-1447 兵庫県加東市佐保50番地
TEL (0795) 42-8570 FAX (0795) 42-8580

ホームページ <https://panasonic.co.jp/eco/petec/>
工場見学・アクセス等、詳細はホームページでご確認ください。



2025.03.5000

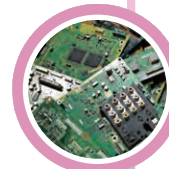
Panasonic

観て、聞いて、ふれて、学べる資源循環施設

ピーイーテック

PETEC

Panasonic Eco Technology Center



パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社

Panasonic Eco Technology Center Co.,Ltd. (PETEC)

商品から商品へ パナソニック エコテクノロジーセンターの「TREASURE HUNTING」をご紹介します



資源循環型モノづくりで、大切な資源を未来へ

「新しい家電を買おうかな…」
「もうこの家電、処分したいな…」

どんな家電製品もいつか、その役目を終えるときがきます。
…そのとき、使わなくなった家電はどうなるのでしょうか？

使用済み家電には、まだまだ使える資源がたくさんあります。

私たちは「もったいない!」の気持ちで使用済み家電をリサイクル。
貴重な資源を循環させ、「商品から商品へ」のリサイクルと、
ごみの減量に取り組んでいます。

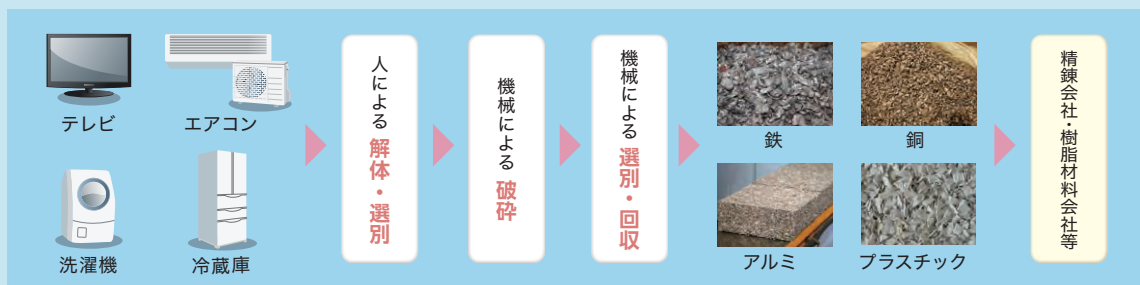
施設概要

資本金:4億円
事業開始:2001年(平成13年)4月1日
敷地面積:38,570㎡(約11,600坪)
使用済み家電製品の処理台数実数:約90万台/年間
取扱品目:薄型テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫(4品目・6機器)

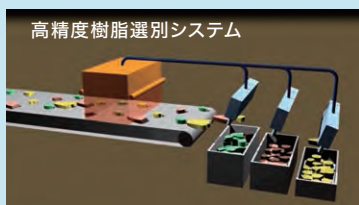
新しいリサイクル技術で、より多くの資源を回収

■PETECの家電リサイクル

メーカー、年式、構造の異なる様々な商品を、まずは人の手できっちりと解体していきます。有害物質であるフロンガスや水銀も適正に処理。次に機械による破碎・自動選別を経た後に、再生資源として世の中に戻っていきます。



■リサイクル技術の開発



3種類のプラスチックを同時選別できる技術を開発

近赤外線を用いてPP、PS、ABS(プラスチックの種類)を純度99%以上で、同時に選別・回収するシステムを開発しました。

この技術開発により、リサイクルプラスチック(樹脂)の再利用をさらに加速させます。

【過去の開発事例】
ネオジム磁石回収装置、ブラウン管レーザー切断装置



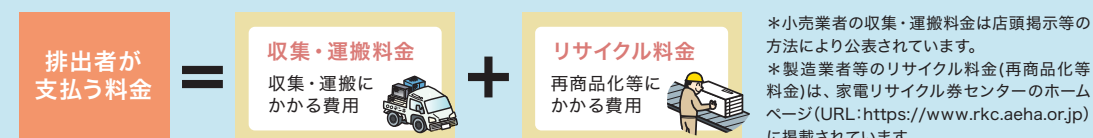
守ろう! 家電リサイクル法は資源循環の第一歩

家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)は、消費者(排出者)→販売店→家電製品をつくるメーカーのそれぞれが役割を分担し、使用済み家電製品をリサイクルして、資源として有効活用する仕組みを定めた法律です。有害物質の適正処理により地球環境の保全にも役立っています。



■家電リサイクルするのに、なぜお金が必要なの？

使用済み家電製品を引き渡すときに支払う料金は、リサイクルにかかる費用として使われています。



*小売業者の収集・運搬料金は店頭掲示等の方法により公表されています。
*製造業者等のリサイクル料金(再商品化等料金)は、家電リサイクル券センターのホームページ(URL: <https://www.rkc.aeha.or.jp>)に掲載されています。

地域社会と共に歩む

私たちPETECは、地域の皆さまと定期的に意見を交換し(環境保全協議会)、そこで出たご意見を事業に反映したり、障がいを持つ方々との協働、さらには次代を担うお子さまたちに工場見学を通じて、資源保護の大切さをお伝えするといった取り組みを行い、地域社会と共に歩んでいます。



環境保全協議会



様々な世代・国々の方に施設を公開

■家電リサイクル券の控えは必ず受け取りましょう

料金を支払った際、下記のリサイクル券が交付されます。控えに記載されている「お問合せ管理票番号」を下記サイトに入力すると、ご自身の排出した家電が、指定引取り場所に引き取られたか確認できます。

家電リサイクル券センター(RKC)
https://rkc-bu-in3.rkc.aeha.or.jp/plsql/rkc_web/p_kt330080



家電リサイクル券
(料金販売店回収方式)

家電リサイクル券
(料金郵便局振込方式)